



安全管理室 NEWS

学校法人立命館 安全管理室
第7号

[2013年7月発行]

理工系実験に関する夏期休暇中の注意事項 について

夏期休暇中はキャンパス内の滞留人口が少なく、日中であっても緊急時の初動対応に遅れが生じる可能性があります。以下のような、実験にあたっての基本的な注意事項を改めて確認し、遵守するようお願いいたします。



- ・ひとりで実験を行わない
- ・緊急時の対応方法(連絡先、消火器等の場所・使い方)の確認
- ・白衣や保護メガネ等、適切な保護具の着用
- ・作業手順や使用する機器・薬品等の危険性の確認
- ・実験スペースでの飲食の禁止
- ・後片付けの徹底、化学物質の適正な保管の実施
- ・5S < 整理、整頓、清掃、清潔、しつけ(習慣) > の推進

「理工系実験のための安全マニュアル」p.65～などもあわせて確認してください。

安全管理室ホームページをリニューアルしました

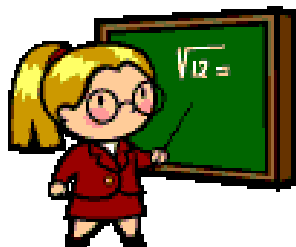
安全管理室のホームページを約1年ぶりにリニューアルしました。

新しいホームページは「一般の方」「学内(防災・防火)」「学内(理工系安全管理)」の3つの項目に再編し、各種資料やデータを見やすく掲載しています。

過去の「安全管理室ニュース」や「緊急注意情報」のほか、理工系実験のための安全マニュアルや各種安全講習会の資料も掲載しています。また、二言語対応についても順次作業を進めています。是非ご活用ください。

< 安全管理室HPアドレス >

<http://www.ritsumeai.ac.jp/safetymanagement/>



局所排気装置(ドラフトチャンバー)の使い方について



局所排気装置(ドラフトチャンバー)は有害な物質が周囲に飛散しないよう、発生源の近くに空気の吸い込み口を設けて処理したうえで外気に排出する、有害物質から身を守るために大変効果的な装置です。

ただし、研究室によってはドラフトの前面扉を大きく開けたまま作業するほか、ドラフト内を薬品や機器置き場にするといった誤った使い方をされているケースが散見されます。これらはいずれも本来の機能を果たすことができません。また、ドラフトチャンバー、安全キャビネット、クリーンベンチはそれぞれ機能が異なるため、目的に応じて使い分ける必要があります。

安全管理室のHPには今年度実施した局所排気装置に関する安全講習会の資料を掲載しています。資料を参考に適切に使用するとともに、定期的にメンテナンスを行うようお願いいたします。

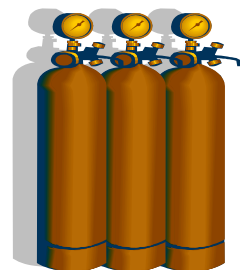
実験室・研究室の安全巡視を実施しています



BKCでは以前より、試薬や高圧ガスが適切に保管・管理されているか、また震災に備えて避難経路の確保や転倒防止策が実施されているかといった現状把握と改善に向けた取り組みとして、理工系の研究室・実験室の対象に、年間50程度の安全巡視を実施しています。また、巡視には可能な限り産業医および衛生管理者が同行し、安全衛生の観点からも指摘やアドバイスさせていただいています。

今年度も約50の研究室・実験室を対象に、6月から安全巡視を実施しています。対象となる研究室には事前にご案内、日程調整のうえ訪問させていただきますのでご協力のほどお願いします。

高圧ガスボンベには保管期間があります



高圧ガス容器は永久に高圧のままガスを閉じ込めておけるものではありません。ガスの性状や容器のつくりなどによる純度の劣化や腐食、容器再検査などを考慮し、BKC内で保管するガスボンベの保管期間は、原則として「概ね購入後1年間とする」ことを確認しています(2012.12.5 理工系安全管理委員会)。

研究室にあるガスボンベの納品日を確認いただき(ボンベにかかっているタグに記載してあります)、該当するガスボンベがあれば納入した業者にご連絡ください(回収は基本的に無償です)。

また、ガスボンベは専用の架台を使用し上下2段のチェーンで固定しているか、保管状態についてもあわせてご確認ください。

発行: 学校法人立命館安全管理室

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1

びわこくさつキャンパス アクロスウイング1階

電話番号: (外線)077-599-4175 / (内線)515-7031 FAX 番号: 077-561-4942

電子メール: anzenka@st.ritsumei.ac.jp

HP アドレス: <http://www.ritsumei.ac.jp/safetymanagement/>

* 安全管理室 NEWS のデータ版も HP に掲載しています。